

平成 27 年度「土岐津の森」土岐津中学校による活動報告

土岐津中学校の1年生 64 名が、学校の裏山である「土岐津の森」において、樹林の働き、樹林整備の意義や現在の森のようすを学ぶための学習、土砂災害に強い樹林を目指した樹林整備活動に取り組みました。

この活動は、多治見砂防国道事務所、土岐市ほか、多くのボランティアの支援のもと実施されました。

○学習会 11月27日

室内講義「防災のはなし」「森林のはなし」

野外学習「土砂流出実験」「砂防ダム実験」「降雨体験」

○観察会 12月17日

野外学習「土岐津の森を知ろう、森にふれよう」

「森の土と木の観察」「ノコギリ体験」

○樹林整備活動 1月15日

野外学習「常緑低木や成長の悪い木の伐採（間引き）」

「整備の効果を確かめるための照度計測」



11/27 学習会



↑
中島講師による講義
「森林のはなし」



↑
土砂災害と
森の働き
～土砂流出実験～

熱心に説明に
聞き入る姿が
見られました



←降雨体験



砂防ダム実験→



【生徒の感想】

- ★森林が災害と大きく関わっていることがわかったので、これからは大切にしていきたい。
- ★砂防ダムの役割、木が砂防に果たす役割がよくわかった。

12/17 観察会

ほとんどの生徒にとって、森に入る経験ははじめてでした。生徒たちは「森を知る、森にふれる」を目的として、森のようすや昨年度までに先輩が整備したところを歩きながら観察し、その後グループにわかれて森の土や木の観察を行い、木を切る練習をしました。



↑
森に入る前に、安全に活動するための「KY活動」を行いました



↑ 森を観察しながら、歩道を1周歩きました



← 天気の良い日には、遊歩道の途中から雪をかぶった御嶽山を見ることができます



↑ ノコギリを使って、玉切りの練習をしました

岐阜大生や土岐市職員が観察リーダーとなって、木の幹や葉、冬芽などを観察し、名前あてクイズなどをしました ↓



穴を掘って、腐植層の厚さを測りました →



1/15 樹林整備活動

「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、地域のボランティアの方などの支援をいただき、樹林を明るくするための常緑低木の間引きを行い、整備の効果を確認するために照度計測をしました。生徒たちには立っている木を切るのははじめての体験でしたが、ケガなく楽しく作業ができました。

伐採作業



2~3人1組で、伐採作業を行いました。

ボランティアの方の支援をいただき、道具の使い方なども教わりました。



玉切り作業



伐採した木は枝を落とし、小さく整理しました。整備のお陰で、林床は明るくなりました。

照度計測の結果、ほとんどの地点で明るくなったことが確認されました。

照度計測



整備後



「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>